

新テストで何が変わるのか

「高大接続改革」で語られなかったこと

「…大学入学者選抜は、本来、高等学校教育を基盤として、各大学のアドミッションポリシーの下、能力・意欲・適性を見極め、大学での教育に円滑につなげていくことが求められます。このため大学入試の仕組みの改善のみを問題にするのではなく、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の在り方について、一体的な改革を行う必要があります。」(教育再生実行会議・第4次提言「高等学校教育と大学教育との接続・大学入学者選抜の在り方について」)

2013年秋に始まった大学入試改革の最終章が今月末(予定)発表され、3年後から現在のセンター試験に代わる「新テスト」がスタートします。これまでの議論で、何が明らかになったのか。改革に潜む問題点は何か。大学入試センターで、長年、試験問題の作成や実施の統括にあたられた大学入試センター(前)副所長*教授の荒井克弘先生からお話を伺います。

また、具体的にどんな入試が始まろうとしているのか? (株)学研アソシエの大堀精一さんに説明して頂きます。

日 時 **7月8日〔土〕 14時～16時50分**

会 場 中央大学駿河台記念館
JR「御茶ノ水」聖橋口3分、地下鉄千代田線「新御茶ノ水」B1出口3分

講 師 **荒井克弘 先生** 東北大学名誉教授

参加費 (独立行政法人)大学入試センター(前)副所長*試験研究統括官

5百円(会員), **2**千円(一般)

お 名 前	塾、学校、社名	Tel/Fax
メールアドレス:		@

★当日会場では、録音、録画、撮影はできません。

お申込み⇒ Fax **047(355)4552** 青沼 Tel 047-352-6158

★お問い合わせ・・・ZWT01362@nifty.ne.jp 【平林】090-6526-0378